

MISA SHIN GALLERY

1-2-7 Shirokane, Minato-ku, Tokyo 108-0072 JAPAN
tel:+81-(0)3-6450-2334 fax:+81-(0)3-6450-2335
www.misashin.com info@misashin.com

プレスリリース
2015年3月

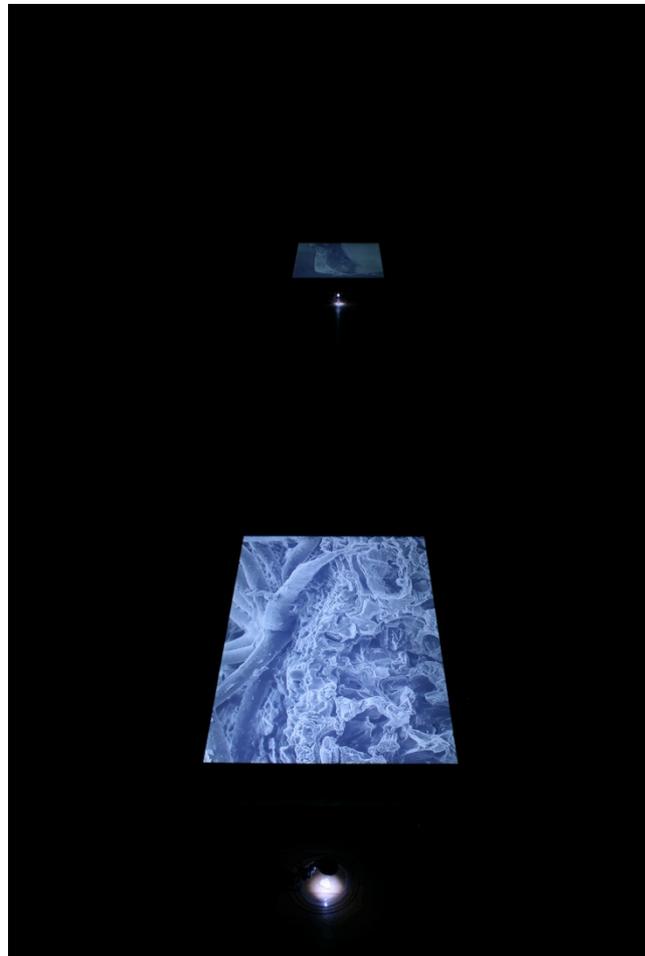
志水 児王 SHIMIZU Jio
landscape

会期：2015年3月20日（金）－ 2015年4月25日（土）
オープニングレセプション：2015年3月20日（金）18:00－20:00
開廊時間：火-土 12:00－19:00（日月祝休）

MISA SHIN GALLERY は、3月20日（金）から4月25日（土）まで、志水児王の個展「landscape」を開催いたします。

志水は、音や光、振動など物理世界を構成する微細な要素を表現素材とし、それらが引き起こす物理現象とその知覚、運動と要素の発生、芸術と自然科学との関係などを実証論的なアプローチで表現するアーティストです。

MISA SHIN GALLERYにおいて2度目となる志水の個展「landscape」は、床、壁、事務所など、作品を展示する場所（ギャラリー）からサンプリングした物質を数百から数千倍に拡大した画像で構成されます。

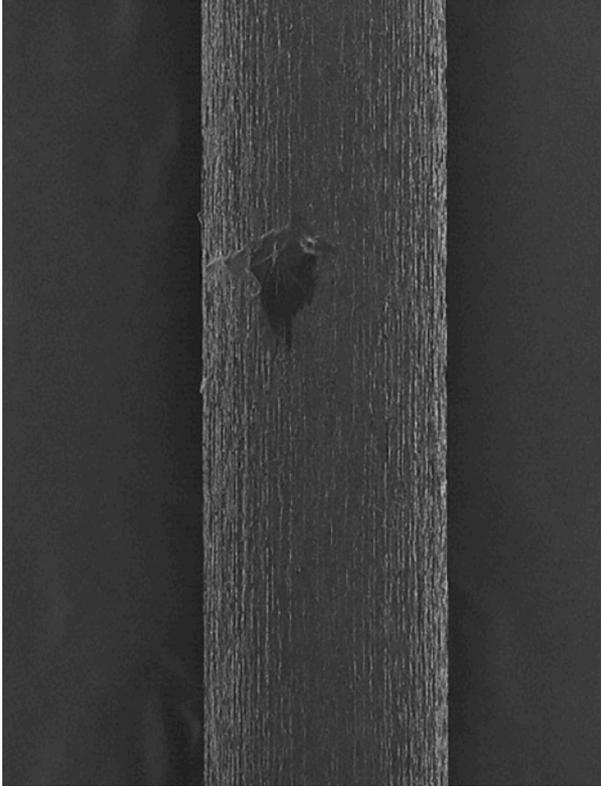


展示風景：志水児王 *:threshold* 2014
ギャラリー・オーブ、京都造形芸術大学

電子顕微鏡は、光学顕微鏡と違い光子ではなく電子を被写体にぶつけて撮影するため、原理的には人間の知覚限界点である波長（400nm／紫色）よりはるかに小さい電子スケール（1nm以下）で観察する事が可能です。また光学的な焦点（ピント）が存在せず、被写界深度が極端に深い画像は1mm以下のスケールにも関わらずとても大きなものを見ている、ある種の「風景」のよう

MISA SHIN GALLERY

1-2-7 Shirokane, Minato-ku, Tokyo 108-0072 JAPAN
tel:+81-(0)3-6450-2334 fax:+81-(0)3-6450-2335
www.misashin.com info@misashin.com



志水児王 *landscape* 2015 映像 (部分)

に感じられます。そして真空状態、強電子線という撮影環境とモノトーンの画像からは、生命が存在できない「宇宙空間」あるいは「無生物の風景」や「死」を連想させます。

3 台のモニターと超音波スピーカーによるインスタレーション作品「landscape」は、通常の見方では見えないものや意識されないものを引き出すことで、出来事に対する認識を新たにさせ、作品固有の体験を作り出します。

志水児王 SHIMIZU Jio

1966年、東京生まれ、東京藝術大学美術研究科大学院修了、現在は埼玉県を拠点に活動する。1994年、角田俊也らとWrK結成。2008年に文化庁在外研修員としてコペンハーゲンに移住。その後2010年末まで同地を拠点に活動。主な展覧会に、「六本木クロッシング」森美術館（東京 2004）、「釜山ビエンナーレ2008」釜山市立美術館（釜山、2008）、「日本のサウンドアート」ロスキル現代美術館（コペンハーゲン、2011）、「On the edge 2012」Tungenes Fyr（ノルウェー、2012）、「Elements」MISA SHIN GALLERY（東京、2012）、「オープンスペース 2014」NTTインターコミュニケーションセンター[ICC]（東京、2014）他。

お問い合わせ info@misashin.com tel:03-6450-2334